

倫理委員会（議事概要）

国立病院機構 東近江総合医療センター

日時・場所	令和3年12月6日（月）17:45～18:20 きらめきホールA
構成員	(委員長) 目片副院長 (委員) 内科診療部長、外科診療部長、石河産婦人科医長、 薬剤部長、看護部長、事務部長、企画課長 (外部委員) 山 びわこ学院大学 准教（リモート参加） 古川 ふるかわ社労士事務所 代表（リモート参加） 藤澤 浄光寺 住職（リモート参加） (オブザーバー) 院長 (事務局) 庶務班長
議 事 概 要	
<p>(1) 申請課題について</p> <p>①3-21申請者：太田 裕之（外科医長） 課題名：がん患者に対する適用外医薬品の使用について 概要：がん患者に対して、適用外医薬品であるメニキスト2mgの毎日内服を行うもの 審査判定：継続審議 (意見) ・ 倫理委員会に先立って、臨床倫理検討部会で検討した結果、現段階では医学的効果が乏しく、不利益の方が大きいと判断し継続審議となったもの。 ・ 対象患者は治験参加のため、当院より京都大学へ紹介したが、参加出来ずに当院へ帰ってきた。 ・ 患者の藁をもつかむ気持ちは理解できるが、患者の希望だけでいいのか。なるべく延命をしていく死の回避は解るが、科学的根拠に基づき治療すべきであり、治験をしていくことが大切だと考える。 ・ 不利益の方が多し事を考えると推奨できないという判断は理解出来、それを患者に説明することも1つである。 ・ 現段階での副作用の重篤性、治療効果等を考えると控えるべきであり、今すぐ実施するべきものではない。</p> <p>②3-22申請者：田中 克典（小児科医師） 課題名：高気圧酸素療法した椎骨髄炎の11歳男児 概要：椎骨髄炎の小児例に対して、高気圧酸素療法を実施した臨床経過等を学術雑誌に公表するもの。 審査判定：承認 (意見) ・ 希少な疾病に対する治療効果の公表であり、学術的にも意味があり、本人や家族へ十分説明され、同意を得ており、公表することに問題はない。</p> <p>(2) その他 次回開催日について 令和4年1月11日（火）受託研究審査委員会終了後</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>	